

テーマ Passion for Details

～Discovering new clinical values in diagnostic imaging～

「これまでにない使いやすさと高い信頼性を備えた画像の提供」をスローガンに進化させたX線診断システム群を中心に展示。また、ヘルスケアにおける貢献を目的に、分析計測技術と医用画像技術の新たなコラボレーションの提案も行っていった。

主な展示製品

- X線テレビシステム
「SONIALVISION G4」
「FLEXAVISION F3 Package」
- 血管撮影システム
「Trinias F12 Mix package」
- 一般撮影システム
「RADspeed Pro EDGE Package」
- 回診用X線撮影装置
「MobileDaRt Evolution MX7 version」
- 乳房専用PET装置
「Elmammo」
- 放射線治療装置用動体追跡システム
「Sync Trax」

X線テレビシステム

「SONIALVISION G4」

骨密度測定のアプリケーションを搭載し、骨粗鬆症診断に必要な検査を1台の装置で行えるFPD搭載X線テレビシステム。今回展示された最新バージョンでは、トモシンセシス関連のアプリケーション機能がさらに充実した。具体的には、トモシンセシスにおいて金属の影響を抑制する逐次近似法を応用した画像再構成技術『T-Smart』、およびトモシンセシスの高精細モードである『1×1(ワン・パイ・ワン)』を導入。また、長尺画像が得られるスロットルアドバンスにおいて『低線量モード』の活用が可能となった。



SONIALVISION G4

X線テレビシステム

「FLEXAVISION F3 Package」

透視・撮影の両方に対応する半切サイズの視野を持つ可搬型FPDを搭載したX線テレビシステム。もともとFPDを取り外して単純X線撮影に活用可能な点が特長であったが、最新バージョンでは新たにワイヤレスFPDをセカンドパネルとして接続可能になった。これにより、例えば整形外科領域の胸部撮影を目的に立位スタンドと組み合わせて使用することもできる。同社はこのシステムを『1DR/2パネルソリューション』と命名。検査領域の拡大のみならず、検査室スペースの有効活用にも貢献する新ソリューションである。



FLEXAVISION F3 Package

血管撮影システム

「Trinias F12 Mix package」

「Trinias」シリーズはFPD搭載の血管撮影システムであり、F12は12インチFPDを採用した上位機種。今回展示された最新バージョンは、血管マッピングを目的とするロードマップ機能『SCORE MAP』の強化により、画質と操作性がより向上した。また、装置の不調や異常の状態を機械側からリモートメンテナンスセンターに自動的に通知し、それを受けて故障前にメンテナンスを行う双方向リモートメンテナンス『Site-View Plus』が新設定された。この両機能を備えたバージョンの販売は本年5月末の予定。



Trinias F12 Mix package



RADspeed Pro EDGE Package

一般撮影システム

「RADspeed Pro EDGE Package」

17インチFPDを搭載し、トモシンセシス、長尺撮影、デュアルエナジーサブトラクションが可能な診断用X線装置。120cmの臥位長尺撮影や最長160cmの立位スタンド撮影に対応し、金属の影響を抑制する画像再構成技術『T-Smart』によるトモシンセシスが行える。ITEM2016に展示した最新バージョンは、軽量タイプのワイヤレスFPD(富士フィルム製)が新たに選択可能になった。同FPDは、軽量設計でありながら200kgの耐荷重性能を持つのが特長。新FPDの追加設定により、選択肢は3社・4タイプに拡大。



MobileDaRt Evolution MX7 version

回診用X線装置

「MobileDaRt Evolution MX7 version」

島津製作所製のPDFを搭載した「MobileDaRt Evolution」の最新型、MX7バージョンを展示。FPDは重量2.5kgの半切サイズを基本に、フルサイズ(17×17インチ)や四切サイズも選択可。装置本体には、従来型よりも表示部が広い17インチタッチパネル液晶モニタを搭載。装置前面2カ所の収納部設置や、FPDのカバー掛けを容易にするスロットの新導入などにより、装置の実用性および操作性をより向上させた。また、システムが1分以内で起動する利便性の高さも同装置の特長。MX7バージョンの発売は今夏の予定。